

大学・学科のディプロマ・ポリシーと
授業カリキュラムマップ

平成29年1月13日

西日本工業大学 FD委員会 上條 恵右

<< 目次 >>

項目	ページ数
1. 大学	1
2. 両学部のDP（教養科目）	2
3. 工学部・総合システム工学科ポリシー	4
学部共通科目カリキュラムマップ	5
機械工学系カリキュラムマップ	6
電気情報工学系カリキュラムマップ	7
土木工学系カリキュラムマップ	8
4. デザイン学部・建築学科及び情報デザイン学科ポリシー	9
学部共通科目カリキュラムマップ	11
建築学科カリキュラムマップ	12
情報デザイン学科カリキュラムマップ	13
5. 教職に関係する科目のうち、教職に関する科目	14
6. 大学院工学研究科	16

西日本工業大学
建学の理念
西日本工業大学は、「人間性に支えられた高度な工業技術者を広く学術の研鑽を通じて育成する」ことを建学の理念とし、豊かな人間性を育み、十分な基礎学力、幅広い社会・科学等の知識を持った職業人育成に重点を置き、地域・社会から信頼され、地域・社会に貢献する大学を目指している。
使命・目的
「工業に関する専門の学術と一般の学芸とを教授研究し、かつ、人格の形成と陶冶を図り、もって文化の向上に寄与する」ことを使命・目的としている。
教育目標・方針
建学の理念に沿って、「豊かな人間性の錬成と優れた工業技術者の育成」を教育目標としている。責任感、誠実さ、協調性などの徳育に重点を置いた人間性教育を基本とし、国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる高度技術者の育成、未知の分野に立ち向かうことのできる気力と自信を持った技術者の育成を図る。
人材養成目標
建学の理念に沿って、次の人材を養成することを目標としている。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力に富む技術者 2) 自信・気力・創意工夫力に富む人材 3) 産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・起業家 4) 地域社会、地域産業に貢献する技術者
ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)
所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとして、主体性をもって多様な人々と協働しながら課題や目標に取り組むことができる。【主体性・協働して学ぶ態度】 2) 創意工夫力・問題解決力 人間社会における諸問題を多面的に考え、創意工夫しながら、粘り強く課題解決に取り組むことができる。【思考・判断・表現】 3) 専門的知識・技術の活用力及び実務型技術者としての実践力 産業界を支える技術者として、ものづくりやデザインなどに関する基礎知識・実用技術などを課題解決に活用することができる。また、新たな技術を開拓・応用しながら成長していくことができる。【知識・技能】
カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)
カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。 1) 教養教育科目 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性を育むために、主に、初年次教育、キャリア教育、一般教養教育及び専門基礎教育から成る全学共通の教養教育科目を配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】 2) 社会人基礎力養成科目 社会人基礎力を育むために、学生が主体性をもって協働して学ぶ能動的授業科目を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】 3) 専門総合教育科目 自信・気力・創意工夫力を高め、主体的な課題解決力を養うために、各学科専門科目群にゼミナール、卒業研究などの科目を配置する。【思考・判断・表現】 4) 学部共通科目・専門教育科目 産業界を支える技術者として、ものづくりやデザインなどに関する基礎知識・実用技術などを修得するために、学部共通科目群、専門教育科目群を配置する。【知識・技能】
アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)
本学は、「人を育て技術を拓く」を基本理念として掲げ、「豊かな人間性の錬成と優れた工業技術者の育成」を教育目標とし、責任感、誠実さ、協調性などの徳育に重点を置いた人間性教育を基本姿勢としています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。 1) 本学の建学の精神・教育目標、教育方針をよく理解し、基礎的学力を有する人。【知識・技能】 2) 多面的な考え方や基礎的なコミュニケーションができる学修意欲に富む人。【思考・判断・表現】 3) 多様な人々と協働しながら主体的なものごとに取り組むことができる人。【主体性・協働して学ぶ態度】 4) それぞれの学科の目指す目標に沿った資質向上、自己の研鑽に努めることができる人。

両学部のディプロマポリシー（教養教育科目用）

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。

大学育成目標	教養教育科目のディプロマポリシー
1)豊かな人間性と社会人基礎力に富む技術者	<p>1) 豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。 【主体性・協働して学ぶ態度】</p>
2)自信・気力・創意工夫力に富む人材	<p>2) 創意工夫力・問題解決力 人間社会における諸問題の原因を追究、発見し、工業技術やデザインの仕組みを理解した上で課題解決に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】</p>
3)産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・起業家	<p>3) 専門的知識・技術の活用力 ものづくりやデザインなどに関する基礎知識・応用技術を人間社会における諸課題の解決に活用することができる。 【知識・技能】</p>
4)地域社会、地域産業に貢献する技術者	<p>4) 実務型技術者としての実践力 工業技術やデザインの人間社会への寄与を正しく理解し、システムやプロダクトの付加価値を高める工夫により地域社会に貢献することができる。 【知識・技能】</p>

教養教育科目のポリシー

ポリシー：豊かな人間性の錬成を目指す「教養」教育

①基礎力の修得

大学生に求められる常識や大学生活を送る上で必要な基礎的な知識、スキルを確実に修得する。

②幅広い教養の修得

社会生活とは何かを理解した上で、専門性を超えた様々な分野に関する知識や仕組み、工夫に触れることで、物事の多角的な見方・捉え方を身につける。

③深い教養の修得

日常によくある現象について改めて深く見つめ直すことにより、自然や社会との関係の中での人間を深く知り、豊かな人間性の涵養を図る。

④総合的な判断力の修得

現代社会が抱える複雑多岐に亘る諸問題を学際的・国際的な観点から眺めることにより、それらに柔軟にかつ機敏に対応できる判断力を養う。

⑤主体的な進路選択能力の修得

望ましい職業観や職業に関する知識や技能を身につけることにより、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を体得する。

教養教育科目			学習・教育目標								
区分	科目番号	科目名	単位数	種別	授業時数	コマ数	備考	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2
基礎スキル科目	CD101	スタートアップセミナーⅠ	1	◎	1前	1		○	○		
	CD102	スタートアップセミナーⅡ	1	◎	1後	1		○	○		
	CD001	連携講座(基礎スキル)			随時			○	○		
総合共通科目	CE101	総合人間科学	2	◎	1前後	1		○	○		
	CE102	総合社会科学	2	◎	1前後	1		○	○		
	CE103	体育Ⅰ	1		2前	1		○			
	CE104	体育Ⅱ	1		2後	1		○			
	CE105	福岡地域学	2	◎	1前後	1				○	○
	CE106	日本国憲法	2		2前後	1		○			
	CE301	地域プロジェクト	2		2前	1				○	○
	CE501	ものづくりと倫理	2		3前	1			○	○	
	CE302	キャリアプランⅠ	1	◎	2前	1			○	○	
	CE303	キャリアプランⅡ	1	◎	2後	1			○	○	
	CE502	キャリアデザインⅠ	1		3前	1				○	○
	CE503	キャリアデザインⅡ	1		3後	1				○	○
	CE107	日本文化と社会	2	(◎)	1前	1	留学生	○			
	CE108	日本事情とビジネス	2	(◎)	1後	1	留学生	○			
	CE001	自主研究			随時					○	○
	CE002	連携講座(総合共通)			随時					○	○
基礎系	CF101	経営学概論	2	○	1前後	1			○		○
	CF102	情報リテラシー	2	○	1前後	1		○	○		
	CF301	コミュニティ論	2	○	4前	1			○	○	
	CF001	COCプロジェクト	2~6	○	随時	1				○	○
語学系	CG111	英語Ⅰ	2	◎※	1前	1		○			
	CG112	英語ⅠS	2	◎※	1前	1		○			
	CG113	英語Ⅱ	2	◎※	1後	1		○			
	CG114	英語ⅡS	2	◎※	1後	1		○			
	CG306	TOEICⅠ	2	○※	2前	1		○			
	CG307	TOEICⅠS	2	○※	2前	1		○			
	CG303	TOEICⅡ	2	○	2後	1		○			
	CG501	英会話Ⅰ	2	○	3前	1		○			
	CG502	英会話Ⅱ	2	○	3後	1		○			
	CG105	中国語Ⅰ	2	○	1後	1		○			
	CG304	中国語Ⅱ	2	○	2前	1		○			
	CG106	韓国語Ⅰ	2	○	1後	1		○			
	CG305	韓国語Ⅱ	2	○	2前	1		○			
	CG107	日本語Ⅰ	2	(◎)	1前	1	留学生	○			
	CG108	日本語Ⅱ	2	(◎)	1後	1	留学生	○			
	CG109	日本語演習Ⅰ	1	(◎)	1前	1	留学生	○			
CG110	日本語演習Ⅱ	1	(◎)	1後	1	留学生	○				
CG001	連携講座(専門基礎)			随時			○	○			

総合システム工学科

教育研究上の目的

本学の建学の理念、学部目的に基づき、総合システム工学に関する理論及び技術を教授研究し、持続可能な社会形成に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成することを目的とする。（学則第2条の2（1））

人材養成像

総合システム工学に関する理論的及び技術的知識と情報技術能力、実務的技術能力を修得し、幅広い視野を持つ総合性を備えた人間性豊かな高度専門職業人を養成する。（学則第2条の3（1））

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。

1) 豊かな人間性と社会人基礎力

豊かな人間性と倫理観を有し、社会人基礎力に富む技術者として、「人と社会との関わりを幅広く理解できる能力」、「コミュニケーション力を備え、他の人との共同環境において、主体的に振る舞え、状況を判断し協働することができる能力」を修得して課題や目標に取り組むことができる。
【主体性・協働して学ぶ態度】

2) 創意工夫力・問題解決力

工学分野における諸課題・諸問題の解決にあたり、総合的な思考力・判断力に富む技術者として、「機械・電気情報・土木工学の分野に関する横断的な学修の成果や各専門分野の知識を発揮して思考・判断し課題・問題解決に取り組むことができる能力」、「諸課題・諸問題の提起から解決案までのプロセスを分かり易く表現してまとめることができる能力」を修得して課題解決に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】

3) 専門的知識・技術の活用能力

総合システム工学に関する基礎力と応用力に富む技術者として、「数学や現代科学に関する基礎的な知識を備え、応用できる能力」、「主たる専門分野の機械・電気情報・土木工学に関する基礎的知識を備え、応用できる能力」を修得して課題解決に活用することができる。 【知識・技能】

4) 実務型技術者としての実践力

実務力、情報技術活用力に富む技術者として、総合システム工学の技術動向を継続的に学び、課題解決につながる能力を修得して自ら成長しながら産業界や地域社会に貢献することができる。 【知識・技能】

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

1) 教養教育科目

豊かな人間性と倫理観を有し、社会性に富んだ主体的に行動できる技術者を育成するため、基礎スキル科目、総合共通科目、専門基礎科目(基礎系・語学系)群を配置する。 【思考・判断・表現】【知識・技能】

2) 社会人基礎力養成科目

社会人基礎力を育むために、他の人との共同環境において主体的に振る舞え、協働して学びながら、社会人基礎力3能力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を育む授業科目を配置する。また、産学連携プロジェクトを活用する。 【主体性・協働して学ぶ態度】

3) 専門総合教育科目

自信と気力に満ち、創意工夫力に富む技術者を育成するために、各年次に専門性への興味関心を高め、学習意欲を高めることができるよう、機械・電気情報・土木工学分野の導入科目と応用科目群を配置する。また、技術者としての思考力・判断力・表現力を総合的に培う専門教育科目として、ゼミナール、卒業研究を配置する。 【思考・判断・表現】

4) 学部共通科目・専門教育科目

総合システム工学に関する基礎知識と応用力に富む技術者を育成するために必要な科目群を配置する。1年次に自然科学の基礎科目群と専門基礎科目群、機械・電気情報・土木工学分野の横断的科目群を、2年次に主要な専門分野の基礎科目群を、3年次に応用科目群を、4年次に総合的科目群を配置する。また、実用技術・技能を修得するために、1年次、2年次、3年次に実験・実習・ものづくり演習科目群を配置する。 【知識・技能】

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

総合システム工学科(機械・電気情報・土木工学)は、技術社会の中核を担う豊かな人間性を有する自立した技術者の育成を目指しています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

1) 本学の教育方針をよく理解すると共に、総合システム工学の知識・技能・技術に強い関心と興味を持ち、これを修得するために必要な基礎学力を有する人。 【知識・技能】

2) 総合システム工学と自然・社会との関わりを総合的に考えることができ、かつ周りとのコミュニケーションをとりながら学ぶことに意欲を持つ人。 【思考・判断・表現】

3) 社会人基礎力を備える技術者として、他の人との共同環境の中で活躍できるようになるために、主体的な振る舞い、協働姿勢を訓練し、それらの能力を向上させるための努力を続けることができる人。 【主体性・協働して学ぶ態度】

4) 総合システム工学科の教育課程での就学を通じて自己の資質を向上させ、生涯学習できる力や創意工夫の能力を向上させるための努力を続けることができる人。 【思考・判断・表現】

工学部 学部共通科目			学習・教育目標								
区分	科目番号	科目名	単位数	種別	授業時数	コマ数	備考	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2
学部 共通 科目	EX101	工学概説	2	◎	1前	1			○		
	EX115	デザイン学概説	2		3前	1		○			
	EX116	京築学	2		2後	1					○
	EX102	工学実験	1	◎	1前後	1			○	○	
	EX119	基礎数理学	2		1前	1				○	
	EX120	基礎物理学 S	2	○ ¹	1前	1				○	
	EX121	基礎物理学	2	○ ¹	1後	1				○	
	EX122	物理学	2		1後	1				○	
	EX123	線形代数学 I S	2	○ ²	1前	1				○	
	EX124	線形代数学 I	2	○ ²	1前	1				○	
	EX125	線形代数学 II S	2		1後	1				○	
	EX126	線形代数学 II	2		1後	1				○	
	EX127	微分積分学 I S	2	○ ³	1前	1				○	
	EX128	微分積分学 I	2	○ ³	1前	1				○	
	EX129	微分積分学 II S	2		1後	1				○	
	EX130	微分積分学 II	2		1後	1				○	
	EX311	微分積分学 III S	2		2前	1				○	
	EX312	微分積分学 III	2		2前	1				○	
	EX313	統計学 S	2		3後	1				○	
	EX314	統計学	2		3後	1				○	
	EX303	常微分方程式	2		3後	1				○	
	EX501	代数学 I	2		3前	1				○	
	EX502	代数学 II	2		3後	1				○	
	EX503	幾何学 I	2		3前	1				○	
	EX504	幾何学 II	2		3後	1				○	
	EX508	確率・統計 I	2		3前	1				○	
	EX509	確率・統計 II	2		3後	1				○	
	EX506	システム工学	2		3後	1					○
	EX310	情報メディア論	2		2後	1					○
	EX111	基礎プログラミング I	2	◎	1後	1					○
	EX305	数値解析	2		2後	1					○
	EX112	環境学概論	2		1前	1					○
	EX507	非破壊検査概論	2		3前	1					○
EX901	地域志向インターンシップ ^o	2		3随	1		○	○	○	○	
EX903	工学セミナー	2		2随	1			○			
EX904	デザインセミナー	2		2随	1		○				
EX902	企業実習	1~2		3随			○	○	○	○	

総合システム工学科 機械工学系			学習・教育目標										
区分	科目番号	科目名	単位数	種別			授業時数	コマ数	備考	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2
				機械	設計	保全							
専門 教育 科目	1M151	ものづくり演習Ⅰ	2	◎	◎	◎	1前	2			○	○	○
	1M152	ものづくり演習Ⅱ	2	◎	◎	◎	1後	2			○	○	○
	1M153	計測工学	2				1前	1				○	
	1M154	機械工作Ⅰ	2	◎	◎	◎	1前	1				○	○
	1M155	機械工作Ⅱ	2				1後	1				○	○
	1M156	読図	2	◎	◎	◎	1後	1				○	○
	1M157	設備保全工学	2	◎	◎	◎	1後	1				○	
	1M158	CADⅠ	2	◎	◎	◎	1後	1					○
	1M351	CADⅡ	2		◎		2前	1					○
	1M352	機械製図Ⅰ	2	◎	◎	◎	2前	2				○	○
	1M353	デジタルエンジニアリング	2				2前	1					○
	1M354	材料力学Ⅰ	2	◎	◎	◎	2前	1				○	
	1M355	機械力学Ⅰ	2	◎	◎	◎	2前	1				○	
	1M356	電気工学Ⅰ	2	◎	◎	◎	2前	1				○	
	1M357	CAE	2		◎		2後	1					○
	1M358	ものづくりワークショップ	2		◎		2前	2			○	○	○
	1S301	機械保全Ⅰ	2			○ ¹	2前	2					○
	1S302	機械加工Ⅰ	2			○ ¹	2前	2					○
	1S303	溶接技術Ⅰ	2			○ ¹	2前	2					○
	1S304	機械保全Ⅱ	2			○ ²	2後	2					○
	1S305	機械加工Ⅱ	2			○ ²	2後	2					○
	1S306	溶接技術Ⅱ	2			○ ²	2後	2					○
	1M359	機械材料Ⅰ	2	◎	◎	◎	2後	1				○	
	1M360	機械要素Ⅰ	2	◎	◎	◎	2後	1				○	
	1M361	流体力学Ⅰ	2	◎	◎	◎	2後	1				○	
	1M362	工業熱力学Ⅰ	2	◎	◎	◎	2後	1				○	
	1M363	制御工学Ⅰ	2	◎	◎	◎	2後	1				○	
	1M551	機械製図Ⅱ	2			◎	3前	1				○	○
	1M552	機構学	2				3前	1				○	
	1M553	機械材料Ⅱ	2				3前	1				○	
	1M554	材料力学Ⅱ	2				3前	1				○	
	1M555	制御工学Ⅱ	2				3前	1				○	
	1M556	電気工学Ⅱ	2				3前	1				○	
	1M557	機械要素Ⅱ	2				3前	1				○	
	1M558	機械力学Ⅱ	2				3前	1				○	
	1M559	機械工学実験	2	◎	◎	◎	3前	2				○	
	1M560	機械設計製図	2	◎	◎		3後	2				○	○
	1M561	シーケンス制御	2				3後	1				○	
	1M562	ロボット工学	2				3後	1				○	
	1M563	自動車工学	2				3後	1				○	
	1M564	工業英語	2			◎	3後	1				○	○
	1M565	総合演習Ⅰ	2				3後	1				○	○
	1M566	総合演習Ⅱ	2				3後	1				○	○
	1M567	流体力学Ⅱ	2				3後	1				○	
	1M568	工業熱力学Ⅱ	2				3後	1				○	
1M569	CAD応用	2				3前	1					○	
1M570	ハードウェア・ソフトウェア	2				3前	1					○	
1M571	CAD実践	2				3後	1					○	
1M572	実践プログラム	2				3後	1					○	
1S501	機械保全Ⅲ	2			○ ³	3前	2					○	
1S502	機械加工Ⅲ	2			○ ³	3前	2					○	
1S503	溶接技術Ⅲ	2			○ ³	3前	2					○	
1S504	非破壊検査技術	2			◎	3後	1				○		
1M573	熱・流体機械概論	2				4前	1				○		
1M574	自動車生産技術	2				4前	1				○		
1M001	機械工学地域プロジェクト	1				2髓			○	○	○	○	
1M901	総合システムゼミナール	2	◎	◎	◎	3後	1		○	○	○	○	
1M991	卒業研究Ⅰ	3	◎	◎	◎	4前			○	○	○	○	
1M992	卒業研究Ⅱ	3	◎	◎	◎	4後			○	○	○	○	

総合システム工学科 電気情報工学系			学習・教育目標										
区分	科目番号	科目名	単位数	種別			授業 時数	コマ 数	備考	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2
				電気	知能	情報							
	2E151	電子計算機概論	2	◎	◎	◎	1前	1		○	○	○	
	2E152	基礎電気回路Ⅰ	2	◎	◎	◎	1前	1		○	○	○	
	2E153	基礎電気回路Ⅱ	2	◎	◎	◎	1後	1		○	○	○	
	2E154	情報処理応用	2	◎	◎	◎	1後	1	○	○	○		
	2E155	基礎プログラミング演習	2		◎	◎	1後	1		○	○		
	2E156	実践電気工学Ⅰ	2				1後	1			○	○	
	2E351	情報数学	2			◎	2後	1		○	○		
	2E157	情報技術Ⅰ	2				1後	1		○	○	○	
	2E352	電気基礎実験Ⅰ	2	◎	◎	◎	2前	2	○	○	○		
	2E353	電子回路Ⅰ	2	◎			2前	1			○		
	2E354	メカトロニクス	2		◎		2前	1		○	○		
	2E355	基礎プログラミングⅡ	2		◎	◎	2前	1			○		
	2E356	電気回路Ⅰ	2	◎			2前	1			○		
	2E357	電気磁気学Ⅰ	2	◎			2前	1			○		
	2E358	エネルギー変換	2				2前	1			○	○	
	2E359	コミュニケーション技術	2			◎	2前	1			○		
	2E158	マルチメディア工学	2				1前	1			○		
	2E360	実践電気工学Ⅱ	2				2前	1			○	○	
	2E361	実践電気工学演習Ⅰ	2				2前	1			○	○	
	2E362	情報技術Ⅱ	2				2前	1			○	○	
	2E363	電気基礎実験Ⅱ	2	◎	◎	◎	2後	2	○	○	○		
	2E364	電気電子計測	2				2後	1			○		
	2E365	電子回路Ⅱ	2	◎			2後	1			○		
	2E366	制御システム工学	2	◎	◎	◎	2後	1		○	○		
	2E367	電気回路Ⅱ	2				2後	1			○		
	2E368	電気磁気学Ⅱ	2	◎			2後	1			○		
	2E369	電力工学	2				2後	1			○		
	2E370	実践電気工学演習Ⅱ	2				2後	1			○	○	
	2E371	プログラミング	2		◎	◎	2後	1			○		
	2E372	アルゴリズム設計	2				2後	1		○	○		
	2E373	ロボット工学	2		◎		2後	1		○	○	○	
	2E551	電子情報通信システムⅠ	2				3前	1			○		
	2E552	過渡解析Ⅰ	2	◎	◎		3前	1			○	○	
	2E553	情報構造	2			◎	3前	1			○		
	2E554	パワーエレクトロニクス	2	◎			3前	1			○		
	2E555	高電圧工学	2				3前	1			○		
	2E556	電気機器	2	◎			3前	1			○		
	2E557	電力伝送システムⅠ	2	◎			3前	1			○		
	2E558	システムソフトウェア	2		◎	◎	3前	1			○		
	2E559	論理設計	2		◎	◎	3前	1			○	○	
	2E560	コンピュータ工学	2		◎	◎	3前	1			○	○	
	2E561	組み込みシステム	2				3前	1		○	○	○	
	2E562	デジタル制御工学	2		◎		3前	1		○	○	○	
	2E563	電気設計製図	2				3前	2			○	○	
	2E564	電気電子工学実験Ⅰ	2	◎			3前	2	○	○	○	○	
	2E565	知能制御工学実験Ⅰ	2		◎		3前	2	○	○	○	○	
	2E566	情報工学実験Ⅰ	2			◎	3前	2	○	○	○	○	
	2E567	電気電子材料	2				3前	1			○	○	
	2E568	情報理論	2				3前	1		○	○	○	
	2E569	電子情報通信システムⅡ	2				3後	1			○		
	2E570	過渡解析Ⅱ	2	◎			3後	1			○	○	
	2E571	電子デバイス	2				3後	1			○		
	2E572	電力伝送システムⅡ	2				3後	1			○		
	2E573	応用プログラミング	2				3後	1			○		
	2E574	画像処理	2		◎		3後	1			○		
	2E575	ソフトウェア工学	2			◎	3後	1			○		
	2E576	コンピュータネットワーク	2			◎	3後	1			○		
	2E577	人工知能	2		◎		3後	1		○	○	○	
	2E578	電気電子工学実験Ⅱ	2	◎			3後	2	○	○	○	○	
	2E579	知能制御工学実験Ⅱ	2		◎		3後	2	○	○	○	○	
	2E580	情報工学実験Ⅱ	2			◎	3後	2	○	○	○	○	
	2E581	データベース	2				3後	1			○		
	2E582	電力発生工学	2				4前	1			○		
	2E583	電気応用実験	2				4前	2	○	○	○	○	
	2E584	ハードウェア記述言語	2				4前	1			○	○	
	2E585	電気法規及び施設管理	2				4後	1			○		
	2E051	電気情報地域プロジェクト	1				2随	1	○	○	○	○	
	2E991	総合システムゼミナール	2	◎	◎	◎	3後	1	○	○	○	○	
	2E992	卒業研究Ⅰ	3	◎	◎	◎	4前		○	○	○	○	
	2E993	卒業研究Ⅱ	3	◎	◎	◎	4後		○	○	○	○	

専門教育科目

総合システム工学科 土木工学系			学習・教育目標									
区分	科目番号	科目名	単位数	種別	授業時数	コマ数	備考	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2	
専門 教育 科目	コンピュータ デザイン系	3C101	CGデザイン	2	◎	1前	1				○	
		3C102	CGデザイン演習	2	◎	1後	1				○	
		3C301	G I S	2	◎	2前	1				○	
		3C302	建設CAD	2	◎	2後	1				○	
	測量系	3C103	測量学	2	◎	1後	1				○	
		3C104	測量学演習	2	◎	1後	1				○	
		3C303	測量学実習 I	2	◎	2前	2				○	
		3C304	測量学実習 II	2	◎	2後	2				○	
	構造・材料系	3C305	建設材料学	2	◎	2前	1				○	
		3C306	構造工学	2	◎	2前	1				○	
		3C307	構造工学演習	2	◎	2前	1				○	
		3C310	コンクリート構造工学	2	◎	2後	1				○	
	地盤・道路系	3C501	橋梁工学	2		3前	1				○	
		3C308	地盤工学	2	◎	2前	1				○	
		3C309	地盤工学演習	2	◎	2前	1				○	
		3C311	防災工学	2		2後	1				○	
		3C502	道路工学	2	◎	3前	1				○	
	水理・河川系	3C508	建設施工学	2	◎	3後	1				○	
		3C503	ネットワークプランニング	2	◎	3前	1				○	
		3C312	水理学	2	◎	2後	1				○	
		3C313	水理学演習	2	◎	2後	1				○	
		3C504	河川工学	2	◎	3前	1				○	
		3C505	水処理工学	2		3前	1				○	
	計画・環境系	3C509	海岸・港湾工学	2		3後	1				○	
		3C510	廃棄物処理工学	2		3後	1				○	
		3C314	交通計画学	2	◎	2後	1				○	
		3C506	品質管理学	2	◎	3前	1				○	
	実習・演習系	3C507	環境計量学	2		3前	1				○	
		3C511	都市計画	2		3後	1				○	
		3C513	土木・環境工学実験 I	2	◎	3前後	2				○	
		3C514	土木・環境工学実験 II	2	◎	3前後	2				○	
	卒研等総合系	3C315	基礎演習 I	2	◎	2後	1					○
		3C515	基礎演習 II	2	◎	3前	1					○
3G901		総合システムゼミナール	2	◎	3後	1				○		
3C516		土木環境設計	2	◎	4前	2					○	
その他	3G991	卒業研究 I	3	◎	4前			○	○	○	○	
	3G992	卒業研究 II	3	◎	4後			○	○	○	○	
	3C001	土木環境工学地域プロジェクト	1		2随				○			
	3C105	環境ボランティア	1		2随			○				
	3C316	環境と企業	2		2前	1			○			
	3C317	環境と情報	2		2後	1			○			

建築学科

教育研究上の目的

本学の建学の理念、学部の目的に基づき、建築に関する理論及び技術を教授研究し、良好な社会環境・人間環境の形成に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成することを目的とする。(学則第2条の2(2))

人材養成像

建築に関する理論的及び技術的知識と情報技術能力、実務的技術能力を修得し、幅広い教養を備えた人間性豊かな高度専門職業人を養成する。(学則第2条の3(2))

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。

1) 豊かな人間性と社会人基礎力

豊かな人間性を有し、主体性を持って他分野の人々と協働できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を習得し課題や目標に取り組むことができる。【主体性・協働して学ぶ態度】

2) 創意工夫力・問題解決力

現代的課題を多面的に考え、創意工夫しながら解決する能力を持ち課題解決に取り組むことができる。【思考・判断・表現】

3) 専門的知識・技術の活用力

建築士(1級建築士、2級建築士)の資格取得に必要な基本的知識・技能・技術を習得し、資格取得に対応できる。【知識・技能】

4) 実務型技術者としての実践力

生活空間や建築、都市、環境に関する幅広い知識を身につけ、デザインに関する課題解決に活用することができる。【知識・技能】

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

1) 教養教育科目

1年次から専門科目を配置すると共にデザイン全般の基礎を中心として幅広い知識と教養を身につけ、2年次から年次を追って、より専門的な知識を習得する科目を配置するとともに豊かな人間性を有し、倫理観、社会性を育むための教養科目を配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】

2) 社会人基礎力養成科目

生活空間や建築、都市、環境をとりまく現代的課題を発見し、学生が主体性を持って協働してそれを解決するデザインとプレゼンテーションの能力を養う能動的授業科目を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】

3) 専門総合教育科目

3年次、4年次になるに従い、ゼミ形式の少人数教育を導入し、専門領域への関心と意欲を高め、それぞれの進路に対応したより専門性の高い知識を習得する科目を配置する。【思考・判断・表現】

4) 学部共通科目・専門教育科目

専門教育科目は設計演習を中核に据え、建築士(1級建築士、2級建築士)資格取得に対応できる科目を配置する。【知識・技能】

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

建築学は工学、技術から芸術、社会、文化に及ぶ幅広い分野にまたがる創造的、総合的学問であり、職域も極めて多岐にわたっています。そのため建築学科では建築技術に関する基礎的専門知識の習得を基本に置きながら、卒業後、多方面で活躍できるよう幅広い教養と豊かな人間性と創造力を身につけた総合力のある人材を育成することを目的としています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

1) 本学の建学の精神・教育目標、教育方針をよく理解し、入学後の修学に必要な基礎学力を有する人。【知識・技能】

2) 創造的なことが好きで、何かを達成するために体や手を動かすことが苦にならない人で、より確かなデザイン力を身につけたいと意欲があり、また、多くの人と協働して物事に取り組むことのできるコミュニケーション能力を持つ人。【思考・判断・表現】

3) 生活空間や建築、都市、環境に興味や関心があり、多様な人々と協働しながら主体的に学習する意欲を持ち続けることができる人。【主体性・協働して学ぶ態度】

4) 将来、社会的に影響のある仕事や生活空間を豊かにする仕事になりたいという夢を持ち、それを実現する意欲と情熱を燃やし続けることができる人。【思考・判断・表現】

情報デザイン学科

教育研究上の目的

本学の建学の理念、学部の目的に基づき、情報デザインに関する理論及び技術を教授研究し、良好な社会環境・人間環境の創造に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成することを目的とする。(学則第2条の2(2))

人材養成像

豊かな人間性と幅広い教養を備え、情報デザインに関する理論的及び技術的知識と情報技術能力、実務的技術能力を修得した高度専門職業人を養成する。(学則第2条の3(2))

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。

1) 豊かな人間性と社会人基礎力

人間性豊かでコミュニケーション能力の高いデザイナーや技術者として、主体性を持って他分野の人たちと協働して課題に取り組むことができる。

【主体性・協働して学ぶ態度】

2) 創意工夫力・問題解決力

社会的課題を発見し、幅広い知識と柔軟な思考でよりよい社会の実現に向けた解決策を提示することができる。【思考・判断・表現】

3) 専門的知識・技術の活用能力

社会の課題解決に向けて具体的な提案を的確に伝えることができる。【知識・技能】

4) 実務型技術者としての実践力

社会人基礎力を身につけ、情報技術とデザイン力で地域社会や産業界に貢献することができる。【知識・技能】

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

1) 教養教育科目

知識や教養、倫理観、社会性を身につけたデザイナーや技術者を育てるため、導入科目群から基礎科目群、応用科目群、教養科目群をバランスよく配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】

2) 社会人基礎力養成科目

社会人基礎力の育成に向け学生が企業人と協働して課題解決を目指すプロジェクトなどの能動的授業科目を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】

3) 専門総合教育科目

自信や気力にあふれ創意工夫のできるデザイナーや技術者の育成に向け、3年次、4年次と進むにつれ、より専門性の高い科目やゼミナールを配置し、4年次には少人数教育で専門領域の知識を深めるため卒業研究を配置する。【思考・判断・表現】

4) 学部共通科目・専門教育科目

人間性豊かで社会に貢献できるデザイナーや技術者を育てるため、1年次は情報デザインの基礎科目や教養科目を中心に配置する。2年次に基礎的演習などでデザインやプログラミングの知識・技能・技術、プレゼンテーションに必要な表現技術を修得する科目を置く。3、4年次では卒業後も見据えてメディア&コミュニケーションデザイン、人間環境プロダクトデザイン、情報システムデザインの3分野の専門性の高い科目を配置する。【知識・技能】

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

情報デザイン学科は、豊かな人間性とデザインスキルを兼ね備えたデザイナーあるいは技術者の育成と輩出を通して、社会に広く貢献したいと考えています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

1) 本学の建学の精神・教育目標、教育方針をよく理解するとともに、情報社会の進展の中で、より確かなデザイン力や高度な情報リテラシーを身につけることに意欲があり、これを修得するための基礎学力を有する人。【知識・技能】

2) デザインやものづくりに関心があり、自己のデザインや技能・技術によって社会へ貢献したいという意欲を持つ人。【思考・判断・表現】

3) 生活環境や社会を豊かにしたいという夢を持ち、他分野の人たちと協力してそれを実現する強い意思を持ち続けることができる人。【主体性・協働して学ぶ態度】

4) デザインをより深く理解し、生活や社会の中で創造的に活用していくことに向けて努力を続けることができる人。【知識・技能】

学部共通科目 デザイン学部			学習・教育目標									
区分	科目番号	科目名	単位数	種別	授業時数	コマ数	備考	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2	
学部 共通 科目	DX107	デザイン学概説	2	◎	1前	1			○	○	○	
	DX108	工学概説	2		3前	1			○		○建	
	DX301	メディア文化論	2		2前	1			○情	○情	○	
	DX302	ユニバーサルデザイン	2		2前	1			○		○	
	DX303	人間工学 I	2		2前	1			○情		○	
	DX308	人間工学 II	2		2後	1				○情	○	
	DX304	映像メディア論	2		2後	1			○情	○情	○	
	DX501	インテリアデザイン	2		3前	1			○情	○	○建	
	DX502	景観デザイン	2		3前	1			○情	○建	○建	
	DX503	空間デザイン	2		3後	1			○情	○建	○建	
	DX104	現代科学入門	2		1前	1					○	
	DX105	数学入門	2		1後	1					○	
	DX109	美術史	2		1前	1					○	○建
	DX110	デザイン史	2		1後	1					○	○建
	DX111	デザイン心理学	2		1後	1			○情		○	
	DX309	生活と環境	2		2前	1			○情		○	
	DX310	企業経営論	2		2前	1					○	
	DX311	北九州学	2		2後	1					○	
	DX312	観光産業論	2		2後	1					○	
	DX504	経営組織	2		3前	1					○	
	DX505	会計学入門	2		3前	1					○	
	DX506	時事問題研究	2		3後	1					○	
	DX507	ビジネスと経済	2		3後	1					○	
	DX112	経済学概論	2		1前	1					○	
	DX903	工学セミナー	2		2髓				○	○		○建
	DX904	デザインセミナー	2		2髓				○	○	○情	○
	DX901	地域志向インターンシップ	2		3髓				○	○	○情	○
	DX902	企業実習	1~2		3髓				○	○	○情	○

建築学科			学習・教育目標									
区分	科目番号	科目名	単位数	種別	授業時数	コマ数	備考	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2	
専門 教育 科目	建築設計系	DA104	建築デザイン基礎	4	◎	1後	2		○		○	
		DA302	建築設計Ⅰ	4	◎	2前	2		○	○	○	
		DA306	建築設計Ⅱ	4	◎	2後	2		○	○	○	
		DA502	建築設計Ⅲ	4	◎	3前	2		○	○	○	
	建築計画系	DA106	住宅デザイン	2		1後	1				○	○
		DA309	建築計画Ⅰ	2	◎	2前	1				○	○
		DA312	建築計画Ⅱ	2		2後	1				○	○
		DA501	都市地域計画	2		3前	1				○	○
		DA304	建築史Ⅰ	2		2前	1				○	○
		DA310	建築史Ⅱ	2		2後	1				○	○
		DX501	インテリアデザイン ※1	2		3前	1				○	○
	建築環境工学系	DA305	建築環境工学Ⅰ	2	◎	2前	1				○	○
		DA311	建築環境工学Ⅱ	2		2後	1				○	○
	建築設備系	DA503	建築設備Ⅰ	2		3前	1				○	○
		DA508	建築設備Ⅱ	2		3後	1				○	○
	構造力学系	DA303	建築力学Ⅰ	2	◎	2前	1				○	○
		DA313	建築力学Ⅰ演習	2		2前	1				○	○
		DA308	建築力学Ⅱ	2	◎	2後	1				○	○
		DA314	建築力学Ⅱ演習	2		2後	1				○	○
		DA511	建築力学Ⅲ	2		3前	1				○	○
		DA512	建築力学Ⅳ	2		3後	1				○	○
	建築一般構造系	DA105	建築構法デザイン	2		1後	1				○	○
		DA504	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	2		3前	1				○	○
		DA514	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	2		3後	1				○	○
		DA505	鉄骨構造Ⅰ	2		3前	1				○	○
		DA515	鉄骨構造Ⅱ	2		3後	1				○	○
	建築材料系	DA301	建築材料概説	2		2前	1				○	○
		DA513	建築実験	2		3後	2				○	○
	建築生産系	DA307	建築施工Ⅰ	2		2後	1				○	○
		DA510	建築施工Ⅱ	2		3前	1				○	○
	建築法規系	DA507	建築法規	2		3後	1				○	○
	建築一般知識系	DA102	建築製図	4	◎	1前	2				○	○
		DX503	空間デザイン ※1	2		3前	1				○	○
DX502		景観デザイン ※1	2		3後	1				○	○	
DA516		3D・CAD	2		3後	1		○			○	
DA509		建築測量学演習	4		3前	2				○	○	
創作系	DA101	造形演習	4	◎	1前	2		○			○	
	DA107	2D・CAD	2		1後	1		○			○	
総合系	DA903	建築ゼミナールⅠ	2	◎	3前	1		○	○	○	○	
	DA904	建築ゼミナールⅡ	4	◎	3後	2		○	○	○	○	
	DA506	建築総合演習	2	◎	4前	1				○	○	
	DA991	卒業研究Ⅰ	3	◎	4前			○	○	○	○	
	DA992	卒業研究Ⅱ	3	◎	4後			○	○	○	○	

※1 「空間デザイン」「景観デザイン」「インテリアデザイン」は学部共通科目。

情報デザイン学科			学習・教育目標								
区分	科目番号	科目名	単位数	種別	授業時数	コマ数	備考	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2
専門 教育 科目	DD101	情報デザイン概論	2	◎	1後	1		○	○	○	○
	DD104	コンピュータ概論	2		1後	1					○
	DD302	ネットワークとセキュリティ	2		2前	1					○
	DD502	データベース論	2		2後	1					○
	DD504	シミュレーション	2		2後	1					○
	DD325	データ処理	2		2後	1					○
	DD527	情報システムⅠ	2		3前	1			○		○
	DD528	情報システムⅡ	2		3後	1			○	○	○
	DD116	プログラミングⅠ	2		1後	1			○		○
	DD326	プログラミングⅡ	2		2前	1			○	○	○
	DD107	CAD演習Ⅰ	2		2前	1				○	
	DD117	WebデザインⅠ	2		1後	2				○	○
	DD506	マーケティング論	2		3前	1			○		
	DD507	広告論	2		3後	1		○	○	○	○
	DD327	企画制作	2		2前	1		○	○	○	○
	DD328	プレゼンテーション	2		2前	1		○	○	○	○
	DD118	造形基礎 [平面]	2	◎	1前	2		○		○	
	DD119	造形基礎 [立体]	2	◎	1前	2		○		○	
	DD120	造形演習	2		1後	2		○	○	○	
	DD121	デジタル画像基礎	2	◎	1前	1				○	○
	DD122	デッサン	2		1前	1				○	○
	DD308	CAD演習Ⅱ	2		2後	1				○	
	DD123	グラフィックデザインⅠ	2	◎	1後	2				○	○
	DD329	グラフィックデザインⅡ	2		2前	2		○	○	○	○
	DD330	3DCG演習Ⅰ	2		2前	2				○	○
	DD331	3DCG演習Ⅱ	2		2後	2			○	○	○
	DD332	WebデザインⅡ	2		2前	2		○	○	○	○
	DD114	写真・映像基礎	2	◎	1後	1			○	○	
	DD333	映像デザイン	2		2前	1			○	○	
	DD335	プログラミング演習Ⅰ	2		3前	1			○		○
	DD336	プログラミング演習Ⅱ	2		3後	1		○	○	○	○
	DD323	プロダクトデザインⅠ	2		2前	1			○		
	DD518	プロダクトデザインⅡ	2		2後	1			○	○	
	DD529	プロダクトデザインⅢ	2		3前	1		○	○	○	○
	DD334	情報デザイン演習Ⅰ	2		2後	2		○	○	○	○
	DD530	情報デザイン演習Ⅱ	2		3前	2		○	○	○	○
	DD523	プロジェクトⅠ	2	◎	3前	2		○	○	○	○
	DD524	プロジェクトⅡ	2	◎	3後	2		○	○	○	○
	DD903	ゼミナールⅠ	2	◎	3前	2		○	○	○	○
	DD904	ゼミナールⅡ	2	◎	3後	2		○	○	○	○
DD531	デザイン総合演習	1	◎	4前	1		○	○	○	○	
DD991	卒業研究・デザインⅠ	3	◎	4前			○	○	○	○	
DD992	卒業研究・デザインⅡ	3	◎	4後			○	○	○	○	

教職科目（教職に関する科目）

教員養成のポリシー

- 専門科目と教職科目の有機的な連携を図りながら、工業大学としての特徴を十分に活かした高度の専門性を有する教員を養成する。
- 中学校から高校にかけての発達段階の異なる生徒に、分かりやすく知識や技術を伝え、その学びを支援しうる能力を有する教員を養成する。
- 教育者としての職業モラルを身につけ、社会人としての人間力形成能力やコミュニケーション能力、自己啓発能力を有する教員を養成する。

ディプロマ・ポリシー

1) 豊かな人間性と社会人基礎力

豊かな人間性に根ざした倫理観、幅広い教養、理論と実践を結びつける学習姿勢を身につけ、教育者としての使命感と責任感、適切な社会性や他者との協調性をもち、主体的に行動することができる。 【主体性・協働して学ぶ態度】

2) 創意工夫力・問題解決力

現代の教育をめぐる多種多様な問題について理解し、情報技術・コミュニケーション力を備え、創意工夫しながら課題解決に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】

3) 専門的知識・技術の活用力

教科指導、生徒指導のための知識及び教科等に関する専門的知識を修得し、工業技術やデザインに関する知識・技能を教授することができる。 【知識・技能】

4) 実務型技術者としての実践力

教育に関する理論及びそれを実践する基礎技能を身につけ、ものづくりやデザインに関わる人材の基礎教育を担うことにより地域社会や産業界に貢献することができる。 【知識・技能】

教職科目			学習・教育目標											
区分	科目番号	科目名	単位数	種別				授業時数	コマ数	備考	1 主体	2 思考	3 知識 1	4 知識 2
				中数	高数	高工	高情							
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	CT101	教職概論	2	◎	◎	◎	◎	1後	1		○		○
	教育の基礎理論に関する科目	CT102	教育学概論	2	◎	◎	◎	◎	1前	1		○		○
		CT103	教育心理学	2	◎	◎	◎	◎	1前	1		○		○
		CT301	教育制度学	2	◎	◎	◎	◎	2前	1			○	○
	教育課程及び指導法に関する科目	CT501	教育課程論	2	◎	◎	◎	◎	3前	1			○	○
		CT502	数学科教育法Ⅰ	2	◎	◎			2前	1			○	
		CT503	数学科教育法Ⅱ	2	◎	◎			2後	1			○	
		CT504	数学科指導法Ⅰ	2	◎	○			3前	1			○	
		CT505	数学科指導法Ⅱ	2	◎	○			3後	1			○	
		CT506	工業科教育法Ⅰ	2			◎		3前	1			○	
		CT507	工業科教育法Ⅱ	2			◎		3後	1			○	
		CT508	情報科教育法Ⅰ	2				◎	3前	1			○	
		CT509	情報科教育法Ⅱ	2				◎	3後	1			○	
		CT510	道徳教育の研究	2	◎				3前	1		○	○	○
		CT302	特別活動の研究	2	◎	◎	◎	◎	2後	1			○	○
	CT104	教育工学	2	◎	◎	◎	◎	1後	1			○	○	
	生徒指導, 教育相談及び進路指導に関する科目	CT303	生徒・進路指導論	2	◎	◎	◎	◎	2前	1		○	○	○
		CT304	教育カウンセリング	2	◎	◎	◎	◎	2後	1		○	○	○
	教育実習	CT511	教育実習Ⅰ	2	◎	○			4集	1		○	○	○
		CT512	教育実習Ⅱ	2	◎	◎	◎	◎	4集	1		○	○	○
CT513		教育実習指導	1	◎	◎	◎	◎	3後4前	1		○	○	○	
教育実践演習	CT514	教育実践演習(中・高)	2	◎	◎	◎	◎	4後	1		○	○	○	
	CT515	職業指導Ⅰ	2			◎		3前	1			○		
	CT516	職業指導Ⅱ	2			◎		3後	1			○		
	CT305	情報と職業	2				◎	2後	1			○		

大学院 工学研究科

教育研究上の目的

工学生産系分野(生産システム分野)におけるエネルギー、制御、製造など、および自然・人間環境分野(環境システム分野)における制御、計画、デザインなどに関わる学術技術の理解と応用を教授研究し、幅広い技術システムへの対応能力を備え、地域の発展と文化・福祉に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする。(大学院学則第2条および第6条)

人材養成像

幅広い社会的見識と工学系分野における柔軟な技術応用能力を育成し、課題の発見と対応・解決能力を備えた高度専門技術者、経営者、起業家を養成する。(大学院学則第2条の2)

(1) 生産システム分野

エネルギー、制御、製造、設計などに関する高度な専門性を修得し、工学生産技術システムへの対応能力を備え、地域の発展と文化・福祉に貢献できる有為な人材を養成する。

(2) 環境システム分野

制御、計画、デザイン、防災などに関する高度な専門性を修得し、自然・人間環境技術システムへの対応能力を備え、地域の発展と文化・福祉に貢献できる有為な人材を養成する。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に修士(工学)の学位を授与する。

1) 豊かな人間性と社会人基礎力

幅広い社会的見識と豊かな人間性を兼ね備えた高度専門技術者として、人間と地域や自然との関わりおよび生産技術、環境技術の役割と位置づけを幅広く理解し、将来を洞察し、経営的判断力を身につけマネジメントすることができる。【主体性・協働して学ぶ態度】

2) 創意工夫力・問題解決力

創意工夫をしながら自己の研鑽を日々行う高度技術者として、キャリアアップに関して必要な事柄・目標を自ら設定し、物事を計画的に進めるとともに、創意工夫を凝らした課題解決法を考案し実行することができる。【思考・判断・表現】

3) 専門的知識・技術の活用力

生産技術、環境技術に関する専門的な知識を有する高度技術者として、数理学、経営工学、3D技術、またはデザイン学に関する専門力を習得して自らの研究に応用し、生産システム分野、環境システム分野における専門力を備え、最新の技術動向を収集・蓄積し、それを利用、実践して課題解決を図ることができる。【知識・技能】

4) 実務型技術者としての実践力

生産システム分野、環境システム分野における実務能力、ICT活用力、表現力に富む高度技術者として、各分野における実務能力を備え、課題の解決に活用することができる。さらに、ICTに関わる先進的な技術力を習得し、課題の解決に活用し自らの研究に応用できるとともに、自己の考えを的確に表現できる。【知識・技能】

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

1) 分野共通科目

幅広い社会的見識と倫理観および豊かな人間性を兼ね備えた高度専門技術者を育成するために、人文系・社会系・経営工学系科目を含む共通科目群を配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】

2) 社会人基礎力養成科目

生産システム分野、環境システム分野における実務能力、ICT活用力、表現力に富む高度技術者を育成するために、演習科目群およびインターシップ科目群を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】

3) 専門総合教育科目

創意工夫をしながら自己の研鑽を日々行う高度技術者を育成するために、主に1年次に専門基礎科目群を配置する。さらに、高度専門技術者としての思考力・判断力・表現力を養うために通年で生産・環境システム特別研究を配置する。【思考・判断・表現】

4) 専門教育科目

生産技術、環境技術に関する専門的な知識を有する高度技術者を育成するために必要な専門応用科目群を各年次に配置する。【知識・技能】

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学の建学の理念、大学院の理念・目的を理解し、機械、電気・電子・情報工学系の生産システム分野と土木、建築、情報デザイン系の環境システム分野のいずれかの研究領域に必要な基礎知識を有し、高い関心と研究意欲を持つ次のような入学者を求めます。

1) 大学院における教育研究にふさわしい専門学力と一般教養を有する人。【知識・技能】

2) 責任感・協調性と豊かな感性があり、幅広い社会的見識と工学系分野における柔軟な技術応用能力の修得を目指す人。また、この分野における生産技術や環境技術に関連する技術者・経営者を目指し、プロジェクト活動や地域活動などに積極的に参加する意欲を持つ人。【思考・判断・表現】

3) 生産技術と社会・地域との関わり、または、環境技術と自然・地域との関わりを総合的に考えることができる高度技術者を目指している人、および研究力を高め、創意工夫力を向上させるための努力を続けることができる人。【主体性・協働して学ぶ態度】

4) 生産システム分野、環境システム分野における実務能力、ICT活用力、表現力を向上させるための努力を続けることができる人。【知識・技能】

大学院工学研究科(生産・環境システム専攻)				学習・教育目標								
				種別		授業 時数	コマ 数	備考	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2
区分	科目名	単位 数	生産	環境								
共通科目	MC101	技術経営論	2			1前	1		○		○	○
	MC102	工業技術史特論	2			1後	1		○			
	MC103	知的財産戦略論	2			1前	1		○			
	MC104	生産管理システム論	2			1前2前	1	隔年	○		○	○
	MC105	情報工学特論Ⅰ	2			1前	1					○
	MC106	環境経済学論	2			1後	1		○			
	MC107	商品・技術開発戦略論	2			1前2前	1	隔年	○			
	MC108	生物学特論	2			2後	1		○			
	MC501	生産・環境システム特別研究	8	◎	◎						○	○
生産システム分野専門科目	MS101	材料工学特論Ⅰ	2			1前	1				○	
	MS102	流体工学特論	2			1前	1				○	
	MS103	機械力学特論	2			1前	1				○	
	MS104	制御工学特論	2			1前	1				○	
	MS301	精密加工特論	2			2前	1				○	
	MS105	電気電子材料特論	2			1後	1				○	
	MS106	電気応用工学特論	2			1前	1				○	
	MS107	情報工学特論Ⅱ	2			1後	1				○	
	MS108	電子デバイス特論	2			1前	1				○	
	MS109	情報通信工学特論	2			1前	1				○	
	MS302	半導体回路設計特論	2			2前	1				○	
	MS110	ソフトウェア工学特論	2			1後	1				○	
	MS111	電気エネルギー工学特論	2			1後	1				○	
	MS112	生産システム特別講義	2			1後	1		○	○		○
	MS113	生産システム特別実習	1~2			1髓	1			○		○
MS501	生産システム演習	4	◎		1前後				○	○	○	
環境システム分野専門科目	ME101	地域環境工学特論	2			1前	1		○		○	
	ME102	地域環境情報システム論	2			1後	1		○		○	
	ME103	地盤工学特論	2			1後	1				○	
	ME104	水圏環境工学特論	2			1前	1				○	
	ME105	交通システム工学特論	2			1後	1				○	
	ME301	都市環境マネジメント論	2			2前	1				○	
	ME106	空間設計論Ⅰ	2			1前	1				○	
	ME302	空間設計論Ⅱ	2			1後	1				○	
	ME107	構造工学特論Ⅰ	2			1前	1				○	
	ME303	構造工学特論Ⅲ	2			1後	1				○	
	ME304	材料工学特論Ⅱ	2			2前	1				○	
	ME108	空間デザイン史特論	2			1前	1				○	
	ME109	学外構造系インターンシップ	1			集中					○	○
	ME305	学外プロジェクト型インターンシップⅠ	4			集中				○	○	○
	ME502	学外プロジェクト型インターンシップⅡ	4			集中				○	○	○
	ME306	学内プロジェクト型インターンシップⅠ	4			1後	2			○	○	○
	ME503	学内プロジェクト型インターンシップⅡ	4			2前	2			○	○	○
	ME110	メディアデザイン特論Ⅰ	2			1前	1				○	
	ME111	プロダクトデザイン特論	2			1前	1				○	
	ME112	情報数学特論	2			1前	1				○	
	ME113	メディアデザイン特論Ⅱ	2			1後	1				○	
	ME114	ユニバーサルデザイン特論	2			1後	1				○	
	ME115	エルゴノミクス特論	2			1後	1				○	
ME307	情報デザイン特論	2			2前	1				○		
ME116	環境システム特別講義	2			1後	1		○	○		○	
ME117	環境システム特別実習	2			1髓	1			○		○	
ME501	環境システム演習	4		◎	1前後				○	○	○	